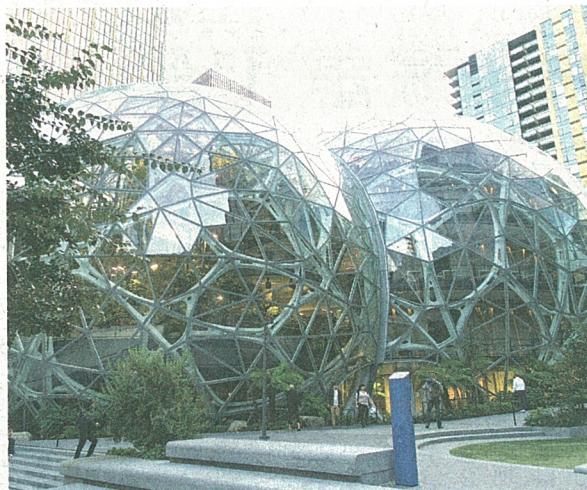


ムは世界有数の企業に成長した。その本拠地は米国・ワシントン州シアトルにある。シアトルにはマイクロソフト、ボーイング、スターバックスコーヒー、ノードストローム、エディーバウワー、郊外にはコストコ本社など世界的な大企業が数多く存在する。なぜ、シ

探訪 新 ライフスタイル

シアトルが示す「ポストコロナ」社会



独特の雰囲気を醸す米シアトルのアマゾン・ドット・コム本社

ライフスタイル

アトルに名だたる企業が生
まれていいのだろうか。

を利用したスタートアップの集積地として成長し、若くて高収入のクリエーティブクラスが流入する。シリアを巡回に暮らす人には、自分らしく生きること、常に新調査

探し、同じ好みの人と協
し、応援する気質がある。
ヒー文化への敬愛も高

躍するボランティアは、座席を案内したり、試合中に人が立つと見えないので注意してくれ、手を付けて

の象徴であり、社会的公正や多様性を重視する姿勢に通じる。他人に思いやりと寄り添つてほのいき頃も

A large, geodesic glass dome structure, likely the Amazon Spheres in Seattle, with a modern building visible in the background.

躍するボランティアは、座の象徴であり、社会的公正と協ある。席を案内したり、試合中で常に多様性を重視する姿勢に意したり、ゴミを片付けたりと自発的な活動をする。球団スタッフではない一般人の自発性を見ると、人を思いやる文化が根っこにあって常に良質な地域コミュニティがつくりられ、サステナブルとは「やさしさ」であることに気づかされ、自らであります。都市全体のシステム価値観を大きく変えていく。ワークスタイル、ライフスタイル、

ルズベストコーヒーをはじめ、多くのコーヒーチェーンが世界的企業に成長した背景には、シアトライトの存在が大きい。シアトライトモバイル・パーク（旧ヤフコ・フィールド）で活躍るのがシアトライトの「ミュニティー」だ。シアトル

2000年の同時多発テロ以降、ニューヨーカーは周りの人々に親切になり「シティーを大切にする循環は、ポストコロナの生活アトル化した」としさやかれた。リバティベル（自由の鐘）は米国の独立、自由（商い創造研究所代表 松本大地）